

No.620

法音

令和3年

6月号

— 今月のご法話 —

小さな徳積み

目蓮宗
法音寺



勇猛精進

慈悲

今日一日、
人を喜ばせましょう
今日一日、
笑顔で人に接しましょう
今日一日、
ほめ合って暮らしましょう
今日一日、
一善を積みましょう

月刊・法音 令和3年6月号 No.620 目次

【信仰の指針】 誠行 じやうぎやう 日常の中での徳積みを中心がけましょう 1

小さな徳積み 山首 鈴木正修 2

◆ 講日のご案内 17

◆ 有縁の支院・布教所に、ご自由にご参詣ください 18

◆ YouTube「昭徳会チャンネル」のお知らせ 20

◆ 仏教説話・施しのこと 21

◆ 書籍のご紹介 29

◆ 知っているようで知らなかった!? 法音寺のこと ⑮ 30

◆ お寺の本棚 34

◆ のりのね体験 36

◆ 教えて三徳 38

◆ 支院だより 40

◆ 福祉のひろば 51

◆ 幸せのお手伝い 52

○ 昭徳会・技能実習生の日本語教育講座を開催 54

○ 日本福祉大学・学生発のサイダー商品化と、安全な住まい発信を支援 56

◆ 法音寺は「信仰と福祉のお寺」です 58

◆ 賛助員ご芳名 59

◆ 幸せの種まき／編集後記 60

◆ 連載まんが・ひまわり・101 薔薇の友達 61

◆ 法音寺の社会福祉・教育事業 60

表紙題字・信仰の指針 山首上人さま書

表紙写真・あやめ

掲載写真 表紙・信仰の指針・3頁…梅田雅臣氏撮影

2頁…加納将人氏撮影

信仰の指針

誠行

じょう

ぎょう

日常の中での徳積みを

心がけましょう

日教五



朝のこない夜はない

山首 鈴木正修

小さな徳積み

前回に引き続き、大阪の弁護士・西中務さんのお話をします。

西中さんは言われます。

「1万人を超える依頼者の人生を見てきて、不思議なことに、裁判で勝った後に不幸になる人が珍しくありません。勝訴を勝ち取った後に会社が倒産したり、不渡り手形をつかまされたり、経営者が交通事故に遭ったりする例を数々見てきました。恐らく恨みを買ったために運が落ちてしまったのでしよう。争いは恨みを残し、運を落としてしまうのです。どうか忘れないでください。このように争いは不運を招きますが、争いを避ければ逆に幸運が訪れます。あらゆる争いを避けるコツは困っている方が気持ちを变えることです」



これを西中さんは浮氣のやめさせ方を例にして説明されています。

『浮氣で相談に来る奥さんは、だいたい、こう言うものです。』主人に何をしたら、浮氣をやめさせられますか』

奥さんが何をしてもご主人の浮氣はとまらない。怒っても、泣いても、人から意見をしてもらっても、やめてくれなかった、というわけです。そこで、私はこう言うことにしています。『ご主人に何をしても、浮氣をやめさせるのはむずかしいですね。好きで浮氣しているんですから、簡単にやめるわけがない。浮氣でご主人はちっとも困っていないんですから、自分が変わる気持ちになるはずがないんですよ』と。すると、奥さんは、『じゃあ、あきらめるしかないんですか』とがっかりする。そこで、すかさず言うのです。

『そんなことはない。手はあります』
奥さんがエツという顔をしたところで、私の経験則をお



教おしえます。

『浮うわき気で困こまっているのは誰だれです。ご主人しゅじんでなく、奥おくさんでしよう。だったら、奥おくさんが今いままでと変かわればいいんです。困こまっているのなら、態たいど度どを変かえることなんて、何なんでもないと思おもいませんか』

そして、ご主人しゅじんに對たいする今いままでの態たいど度どを振ふり返かえってもらいます。すると、色いろ々いろと反はん省せいがで出てくるものです。

疲つかれて歸かえってきたご主人しゅじんに向むかって、『疲つかれているのは、あなただけじゃありません。私わたくしだって疲つかれているんです』と、冷つめたいことばかり言いっている。子こどもの面めん倒どうばかりで、ご主人しゅじんのことはほったらかしにしている。

こんなふうに、何なにかしら、浮うわき氣きがしたくなるようなことを、ご主人しゅじんにしていることが多おほいのです。

『騙だまされたと思おもって、奥おくさんが変かわってみませんか』

そう言いって、奥おくさんの態たいど度どを変かえてもらう。すると、ほとんどのケースで、ご主人しゅじんの浮うわき氣きはとまります。



浮気うわきをされたら、されて困こまっている方が態度たいどを変える。
これがコツなのです」

普通ふつうの弁護士べんごしさんの場合ばあいですと、浮気うわきの相談そうだんは離婚訴訟りこんそしやう、損害賠償請求そんがいばいしょうせいきうと進む法律相談ほうりつそうだんなのですが、西中さいなかさんの場合ばあいは「離婚りこんしてもいいことはないですよ。離婚りこんは不幸ふこうの入口いりぐちですよ。まず、ご主人しゅじんに浮気うわきをやめさせる方法ほうほうを教えましよう」と人生相談じんせいそうだんになるのです。

杉山先生すぎやませんせい以来いらい、法音寺ほうおんじでは「困り者の罪つみ」ということを言いいます。当然とうぜんですが困り事こまりことのある方が相談そうだんに來られます。相談者そうだんしゃはたいてい「相手あいてが悪い」と言いいます。そんな時ときに杉山先生すぎやませんせいは「困り者の罪障ざいしょうです。困こまっているあなたが堪忍かんにんして徳とくを積つまなければいけません」と言いわれました。西中さいなかさんの言いわれることも同じだと思おもいます。

訴うたえたいと思おもっているような人ひとが堪忍かんにんをするのはなかなかむずかしいことです。しかし、そういう人ひとが、まず堪忍かんにん



をしなければいけない。

「ならぬ堪忍、するが堪忍」です。

西中さんは「人生で成功するには運が大事だ」と言われます。『三国志』の天才軍師・諸葛孔明が有名な言葉を残しています。それは「事を謀るは人に在り。事を成すは天に在り」です。これは宿敵、司馬仲達を討ち損なった時の孔明の言葉です。物事を計画するにあたって戦略を練るのは人間です。しかし、それが成就するかどうかは天運にかかっているということです。

私も世の中の大半のことは運が作用していると思います。音楽プロデューサーの秋元康さんは「人生の98パーセントは運だ」と言われています。コメディアンの萩本欽一さんに至っては「人生は丸ごと運だ」と言われます。多くの成功者が運を重視しています。言い方を変えれば、「自分は運に恵まれた」と言っておられるのだと思います。



経営の神さまと言われた松下幸之助さんは「運がええやつが欲しいんや。人間はやっぱり運や。松下電器は運のええやつで固めたいんや」と言われました。面接の時には必ず「君は運がいいか」と聞かれたそうです。松下さんの伝記を読んで私なりに思うのですが、これは「君は物事を肯定的に考える人間か」ということを問われたのではないかなと思うのです。否定的、悲観的に考えるか、肯定的、楽観的に考えるかによって人生は大いに結果が変わってきます。松下さんが言いたかったのは、運が良い人間とは、物事を肯定的、楽観的に考える人間だ、ということだと思えます。

私は運の良い人というのは、諸天善神の御守護を受けている人だと思えます。諸天善神に御守護いただくには、謙虚に功德を重ねていくより他に道はないと思います。

西中さんは功德を積むのに、自分のまわりに手本になるような徳の高い人がいたら、その人の真似をするとよいと



言われます。

西中さんの手本は、イエローハットの創業者・鍵山秀三郎さんです。『法音』でも何度か紹介している「掃除の菩薩」として有名な方です。西中さんは良いと思うことはすべて真似されました。掃除はもちろん、どんな小さなこともなおざりにされませんでした。例えば、鍵山さんはスーパーやコンビニで食品を買う時に、必ず賞味期限を見て、期限が切れる寸前のものを買われます。普通は期限が長いもの、鮮度の良いものを買おうと思います。西中さんが不思議に思ったて尋ねると、鍵山さんは「賞味期限が過ぎても売れなければ、店はその食品を廃棄処分しなければなりません。そうなればもったいないし、スーパーは損をします。でも、私がそれを期限前に買えば、それを防げますから」と言われたそうです。それから西中さんも真似をして賞味期限が近いものを買うようにしているそうです。



おなじような話が、昔の施本『樹徳』にあります。中島勇一さんという方の体験談です。

「私は三徳の修養をするようになって、まず今日までの自分の生活を反省してみました。そして、いろいろな無駄や反省すべき行いに気づき、慄然としました。それから妻とともに語らい合い、悪い行いは直すようにしました。

八百屋さんへ行ったらなるだけ品物の悪いのを、また秋刀魚などは小さいのを撰って、それを値切らず買って来るようにしました。そうすれば後から買いにいった人々は、良い品物を買うことができ、その人達を間接的に喜ばせてあげられるし、ひいては八百屋さんも喜ぶでしょう。すべて買い物はこんなふうにしてやることに改めました」

もう一つ昭和14年の『樹徳』に載っていた安井鉦五郎さんという方の体験談です。

「私の友人に市電の車掌をしている人があります。その友人が職務上一番困るのは、ラッシュアワーなどの時、電車が



賃の釣銭を出すことだと申しました。『甚だしい時には、六銭の電車賃を十円札で出す人がある。（※六銭を六〇円だとすると十円は一万円になります）こんなのは番外だけれど、それでも五十銭なんかで出すのはいくらでもある』と申しました。私はこれをその友人に聞いてから、必ず電車に乗る前に釣銭のいらないように六銭の用意をしておくようにしております。こんな些細なことですけれど、これですしでも車掌さんに迷惑をかけずに済ませられたらと思つて実行しております。私は電車に乗つてやるぞという気持ちより、電車に乗せてもらうという気持ちの方が大切だと思つております」

どちらも、昔の信者さんの、少しでも徳を積もう、という尊い心が伝わってきます。日常の徳積みが本当に大事だと思ひます。

前回、人との縁を大切にすることで運が開けてくるとい



うお話がありました、西中さんは誰かと会うと必ず「先日はあるがとうございました。お会いできて本当にうれしかったです。またお会いできるのを楽しみにしています」と書いてハガキを出されます。年間2万枚程出すそうです。知り合いの方が入院されている時にもハガキを出します。ご自分の体験から、お見舞いに来てくれるのはうれしいけど疲れてしまうこともある。そこでお見舞いのお金とハガキを送ることにしているそうです。すぐ退院できそうなら自宅に、入院が長引きそうなら病院に送ります。手紙には「大変ですね。でもこれは神さまが働き過ぎだから休養するようにいっておられるのだと思います。ゆっくりお休みになってください。もし何か私に手伝えることがあったら何なりと言ってください」と書くそうです。

入院をしていた方の奥さんから「主人が『眼鏡をとってくれ』と何度も言うんですよ。西中さんからのハガキをうれしそうに何度も読み返しているんです」と電話があった



り、「弁護士べんごしの友人ゆうじんからハガキが来たんだよ」と同室どうしつの人に披露ひろうしているという話はなも聞きかれたそうです。「心こころも体からだも弱よわっていたから励はげまされたよ」と後あとでお礼れいを言いわれたこともあつたそうです。

私わたくしの若い頃ころの経験けいけんです。広島ひろしまの福山支院ふくやまし いんに行いった時とき、高こう齢れいの女性じよせいから「お神通じんつうをかけてほしい」と頼たのまれ、神通じんつうがけをさせていただきました。その方かたは大層瘦たいそうやせられて、つらそうでした。事情じじようを聞きいてみると、「肝臓かんぞうがんの末期まつきで腹水ふくすいが溜たまっている」ということでした。「今度入院こんどにゆういんしたら支院し いんにはもう来くることができないと思おもいます」とも言いわれました。その後あと、病院びやういんからお礼状れいじようが来きました。そこには「人生じんせいの最期さいごを迎むかえるにあたってお題目だいもくと三徳さんとくの教えおしがあるから、何も恐おそれるものはありません。安らかな気持きもちちでおります。ありがとうございます。また、周りまわの患者かんじやさん達たちにも『お題目だいもくを唱となえろと心こころが楽らくになりますよ』とお題目だいもく



を勧めています」と書かれていました。私はとても感銘を受け、すぐに返事の手紙を書きました。その後、吉橋上人と猪原法尼から「正修上人のお手紙を拝見しましたよ」と言われました。その方は、吉橋上人のお知り合いで、猪原法尼のいとこの方でした。私の手紙を読んで喜ばれ、お二人に手紙を見せられたとのことでした。それを聞いて、うれしい反面、手紙は人に見られるということも考えて書かなければと思ったのを覚えています。

「鍋島論語」と言われる『葉隠』に「文章の書き方については、わずか一行の手紙でも文案をよく練ることである。また手紙は受け取った先で掛け物になると思え」とあります。実際に昔の偉い方の手紙は掛け軸になっています。大阪の信者さんで法音寺並びに昭徳会に度々寄付をしてくださる方があります。その方から特別な寄付をいただいたとき、感謝状を持って大阪に行きました。その時にその方



が「父^{ちち}も御開山^{ごかいさん}上人^{しょうにん}から直接^{ちやくせつ}感謝状^{かんしゃじょう}をいただきました。それを今日^{きょう}、持^もってきました」と言^いわれ、見^みせてもらうと掛け軸^{かけじく}になった御開山^{ごかいさん}上人^{しょうにん}の手書^{てが}きの感謝状^{かんしゃじょう}でした。

西中^{にしなか}さんは「年末^{ねんまつ}に届^{とど}く、喪中^{もうちゅう}のハガキにも返事^{へんじ}を書^かくように」と言^いわれています。喪中^{もたちゅう}ですので年賀状^{ねんがじょう}を書^かくわけにはいきませんが、普通^{ふつう}のハガキで心^{こころ}を込^こめて返事^{へんじ}を書^かくと、相手^{あいて}の心^{こころ}に残^{のこ}るのでやったほうが良^よいと言^いわれます。特に亡^{とく}くなった方^{なた}を知^しっている場合^{ばあい}は必^{かなら}ず書^かくべきだと言^いわれています。

私^{わたくし}も相手^{あいて}がうれいときやおめでたいときはもちろん、悲^{かな}しいときや、辛^{つら}いときにこそ、心^{こころ}のよりどころとなるよ^ような言葉^{ことば}を贈^{おく}ることが人^{ひと}としての本^{ほん}当^{とう}の思^{おも}いやりだと思^{おも}います。

西中^{にしなか}さんがハガキを書^かくようになったきっかけは『ハガキ道^{どう}』で知^しられている、坂田^{さかた}道信^{みちのぶ}さんとの出^で会^あいからだそ



うです。坂田さんから「ハガキは下手な字で書いた方がいいですよ」「字の間違いがあってもいいですよ」と教わった時、西中さんは「そんな馬鹿な」と思ったそうです。字が上手い方がもらった人もうれいだろう」と思っていたのです。しかし、それは単なる自己満足でした。「人間だもの」で有名な詩人の相田みつをさんも独特な字を書かれます。実は相田さんは書道の腕前は一流で、わざとあの字を書いておられたそうです。今では西中さんも、自分でも愛着のもてる崩した字でハガキを書いているそうです。

西中さんは「心がつなげれば、人が運を持ってきてくれます。手書きのハガキは心をつなぐ、開運の秘法なのです」と言われています。



良い教えの話を聞きましょう。

全国の法音寺各支院・布教所では
毎月の講日の中で

三徳の教えを聞くことができます。

是非講日にご参詣いただき

教えを心にしみ込ませましょう。

◆今月の山首上人さまご親修日程

郡上八幡支院	6月8日(火)	開基堂	6月10日(木)
上野支院	6月13日(日)	豊川支院	6月20日(日)
一宮支院	6月25日(金)		

有縁の支院・布教所に、ご自由にご参詣ください

支院・布教所名	今月の講話日など	住所	電話番号
大乗山泰明寺	5日・20日	名古屋市中村区名駅2-37-3	☎(052)581-2069
開基堂	10日	江南市寄木町天道18	☎(0587)53-5436
東京支院	6日・12日・26日	東京都練馬区谷原2-6-37	☎(03)3904-1251
山形布教所	10日	山形市長町2-4-6	☎(023)681-0770
静岡支院	2日・12日・22日	磐田市中心4-7-3	☎(0538)32-6625
豊川支院	4日・20日	豊川市中野川町1-26-3	☎(0533)86-4704
安城支院	6日・18日・28日	安城市新田町小山31-25	☎(0566)76-2504
明川支院	11日・26日	豊田市明川町堂ノ脇1-2	☎ご連絡は本山事務局へ
佐屋支院	4日・13日・24日	愛西市大井町浦田面296	
一宮支院	5日・15日・25日	一宮市大江1-7-4	☎(0586)72-7208
西春支院	2日・12日・22日	北名古屋市九之坪東ノ川20	☎(0568)22-5813
岐阜支院	4日・14日・18日・24日	岐阜市切通7-15-22	☎(058)245-2939
笠松布教所	12日	岐阜県羽島郡笠松町八幡町23	☎(058)388-2740
大垣支院	1日・11日・21日	大垣市宝和町5	☎(0584)78-4854
関支院	3日・13日・23日	関市西福野町2-15-11	☎(0575)22-0776
平賀支院	5日・15日・25日	関市市平賀2-13-2	☎(0575)23-3771
郡上八幡支院	8日・20日	郡上市八幡町小野7-21-3	☎(0575)65-3933
四日市支院	3日・13日・22日	四日市市赤堀2-4-7	☎(059)352-3633
上野支院	1日・13日・21日	伊賀市上野向島町3475	☎(0595)21-0127

京都支院	1日・9日・20日	京都市上京区北横町360	☎(075)231-3437
高槻支院	6日・21日	高槻市天神町1-9-2	☎(072)685-1003
大阪支院	13日・23日	大阪市此花区西九条3-4-41	☎(06)6465-5051
和泉支院	6日・22日	大阪府泉南郡田尻町嘉祥寺404	☎(072)466-3112
神戸支院	12日・21日	神戸市兵庫区五宮19-17	☎(078)360-4884
淡路支院	5日・25日	南あわじ市神代国衙910	☎(0799)421-0175
岡山支院	6日・8日・23日	岡山市南区若葉町1-16	☎(086)262-0818
高知布教所	12日	高知市上町5-5-39	☎(088)823-1983
福山支院	1日・20日	福山市西町3-19-5	☎(084)921-3078
三原支院	12日・27日	三原市皆実2-9-22	☎(0848)621-5087
安芸津支院	5日・20日	東広島市安芸津町三津3765-3	☎(0846)451-4012
坂支院	6日	広島県安芸郡坂町坂東2-24-12	☎(082)885-1064
福岡支院	6日・15日・20日	福岡市早良区城西2-11-37	☎(092)821-7975
壱岐布教所	13日・23日	壱岐市石田町池田東触1112	☎(0920)441-5445
筑後布教所	13日・27日	筑後市大字西牟田5954-1	☎(0942)531-7273
天草布教所	1日	上天草市大矢野町維和1502-1	☎(0964)581-0742
田川支院	6日・13日・27日	田川市春日町7-30	☎(0947)421-1819
名古屋地区	7日・17日・27日	名古屋市昭和区駒方町3-3	☎(052)831-7135
瀬戸布教所	9日・19日・26日	瀬戸市東本町2-20	☎(0561)851-6860
亀岡布教所	14日・27日	亀岡市篠町篠牧田73-1	☎(0771)251-7807

※スケジュールは変更されることがあります。詳しくは各支院・布教所にお問い合わせください。(掲載順不同)

昭徳会職員にインタビュー 『若手職員が語る 福祉の魅力』

安立荘・小原学園・小原寮・放課後等デイサービスたいざんで働く若手職員が
仕事のやりがいや喜びを語ってくれました。

安立荘



小原学園



小原寮



放課後等デイサービスたいざん



社会福祉法人昭徳会

 YouTube チャンネルからご覧ください

https://www.youtube.com/channel/UCie_AGf13pUuQ2wu9vzYg →

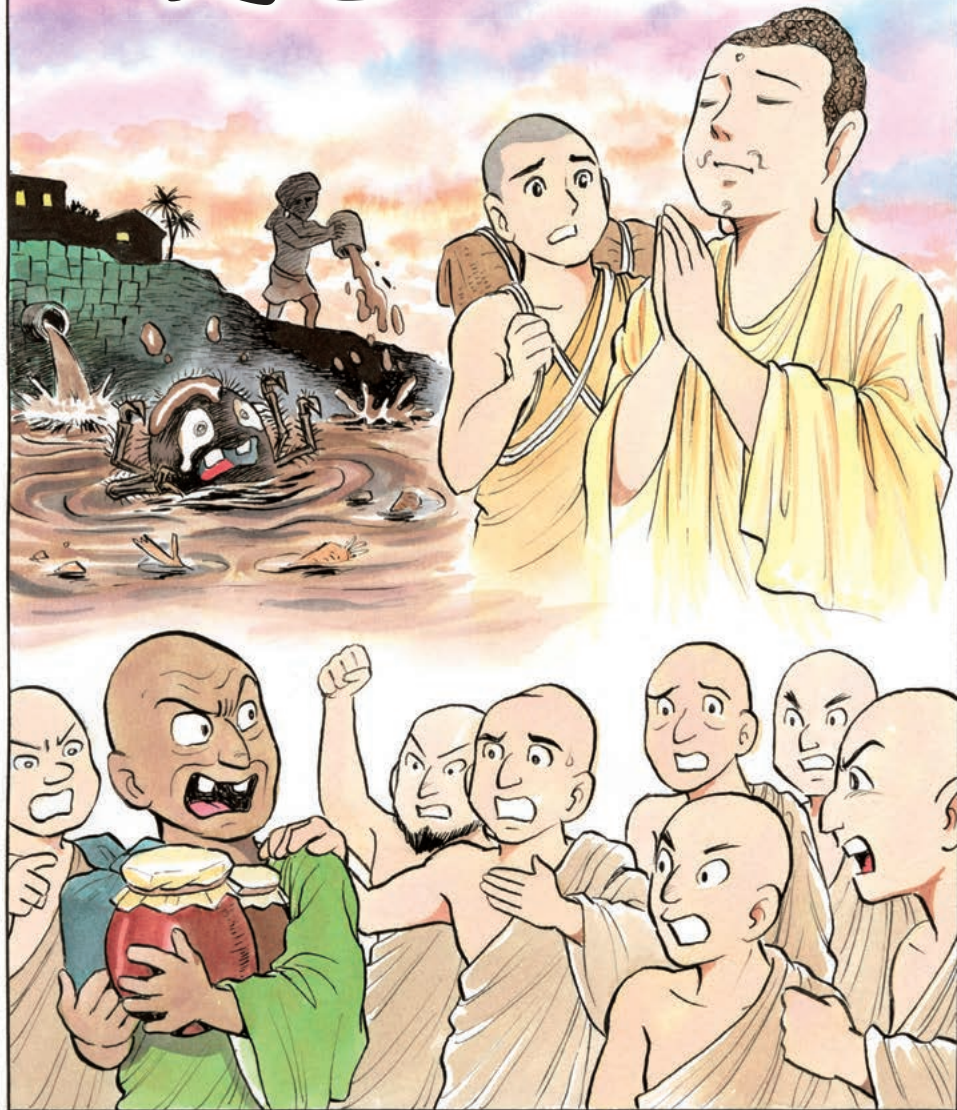


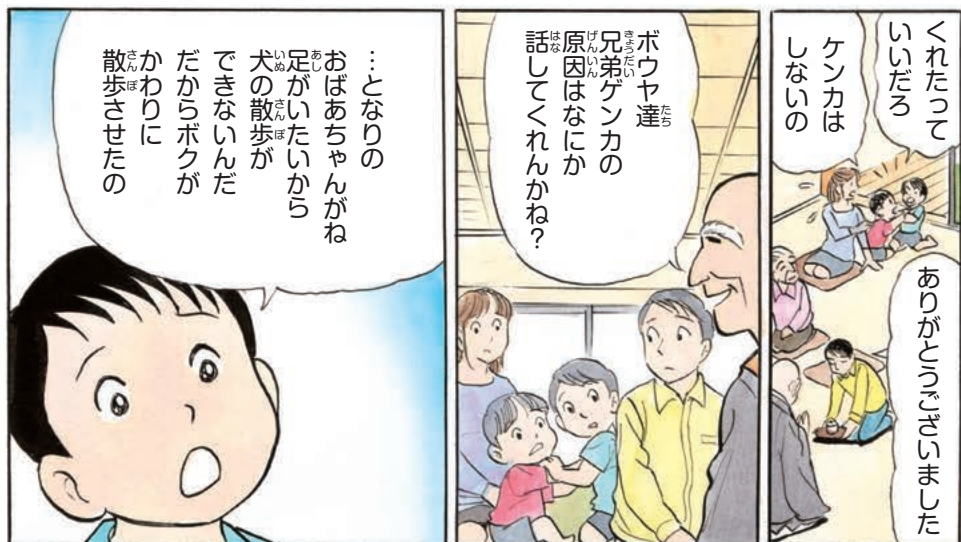
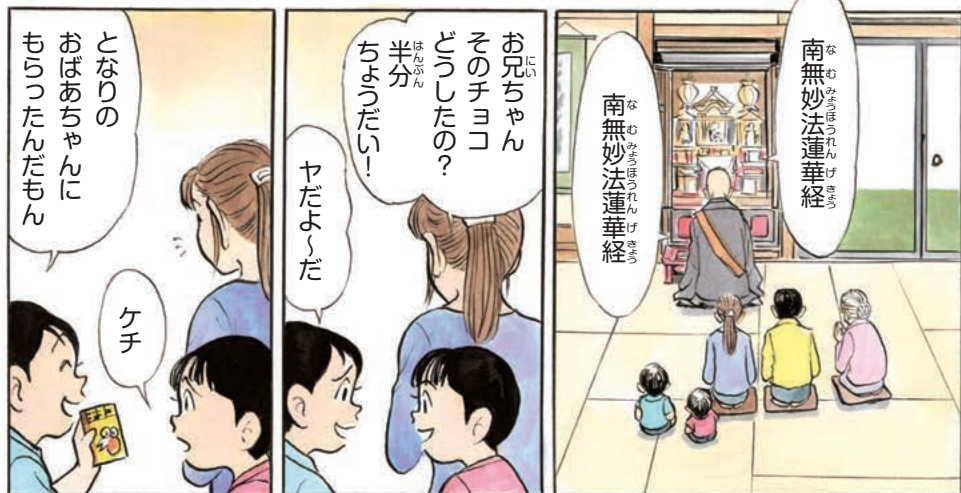
ぶっ ぎょう せつ わ

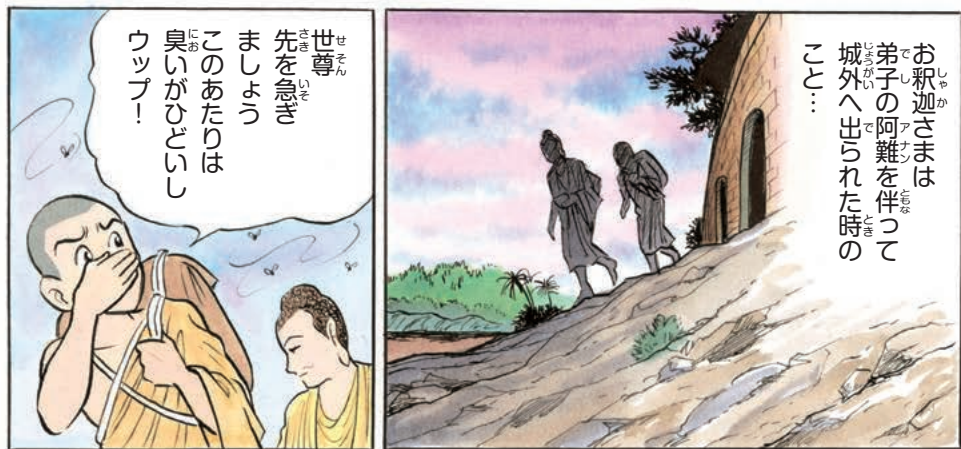
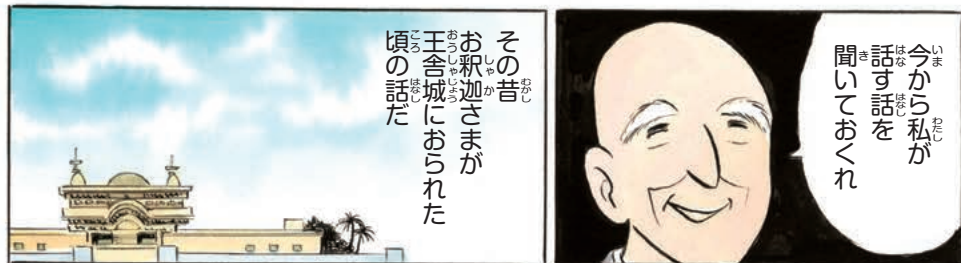
仏教説話

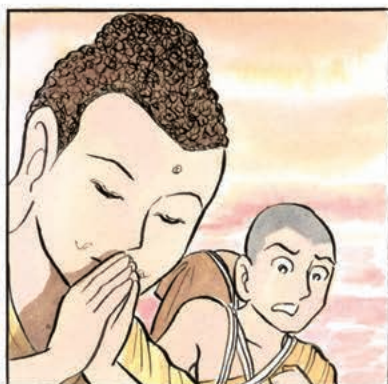
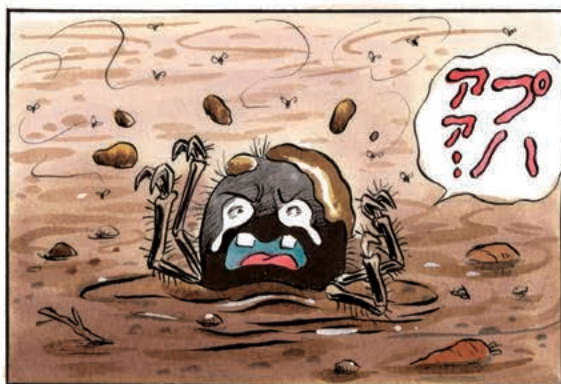
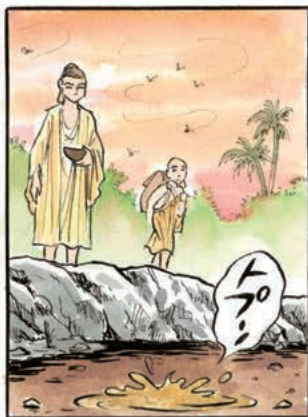
ほ ど こ

施しのこと









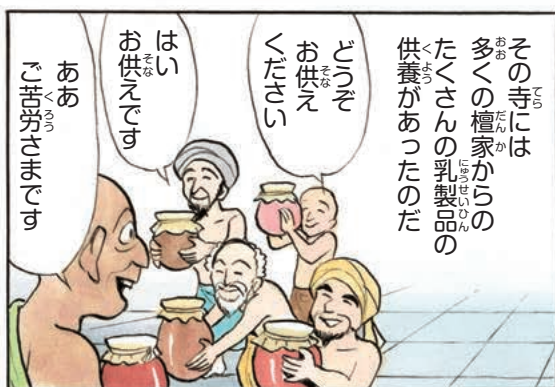
先ほど城外の肥田のための
中の小虫をご覧に
なりましたね

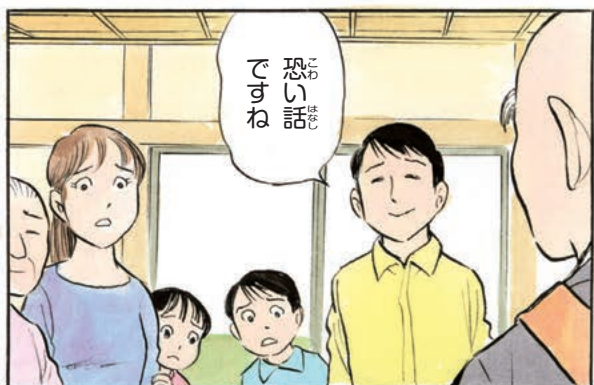


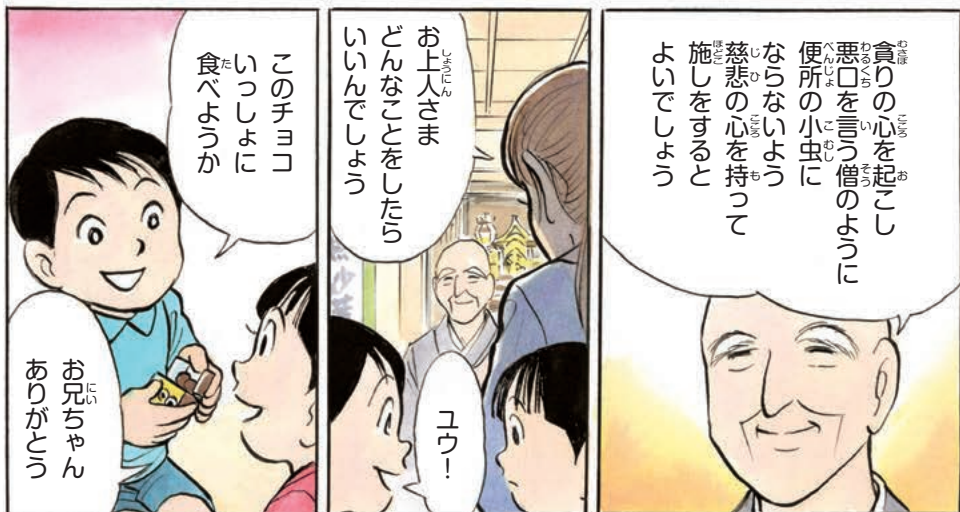
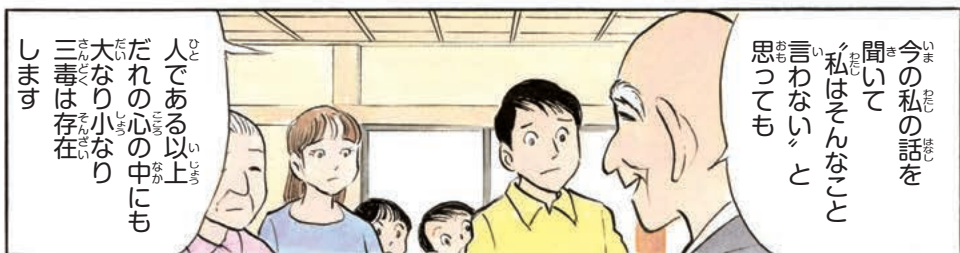
世尊よ
お聞きしたいことが
あります



霊鷲山









おわり

書籍のご紹介

法音寺を
知りたい方へ



戦後、法音寺を開山した鈴木修学上人は、仏教の教えを漫画で伝えようと多くの仏教漫画を作りました。当時の仏教界では革命的な取り組みでした。現在、全国の日蓮宗寺院で法音寺の仏教漫画が販売されています。

■まんが

『法音寺物語 上・中・下』

法音寺広報委員会 企画

中央法規出版刊

B5版 平均九六頁総カラー

定価 各巻一、〇〇〇円（税別）

法音寺の教えを
学びたい方へ



現代生活の指針

鈴木修学 著

四六判／三四五頁

定価一、〇〇〇円（税込）



現代生活の指針

鈴木修学 著

四六判／三五二頁

定価一、〇〇〇円（税込）

仏教を
学びたい方へ



鈴木修学先生の
南無妙法蓮華經

浅井圓道 著

山喜房佛書林刊

四六判／二百二頁

定価一、八一四円（税込）



妙法蓮華經略義

鈴木修学 著

青山書院刊

A5版／八六三頁

定価六、〇〇〇円（税込）

福祉を
学びたい方へ



日本の福祉を築いた
お坊さん

星野貞一郎 著

中央法規出版刊

A6版／二六八頁

定価八六四円（税込）



福祉を築く

西山茂／秦英雄／
宇治谷義雄 著

中央法規出版刊

A5版／二二三頁

定価三、六二八円（税込）

知っているようで知らなかった!?

法音寺のこと ⑮

大荒行の日々

一年のうちで最も寒さの厳しい百日間、極限状態に身を置き、修法道を体得するという日蓮宗の大荒行。身には木綿の白衣に麻衣のみ。一日二回の食事も極めて粗食で、椀に半分程のうすい白粥と味噌汁。睡眠は一日三時間。午前3時から午後11時まで七回水行して読経を続ける。身も凍るような寒気と押し寄せる睡魔、栄養不足は青年僧侶でも骨身にこたえる修行に修学（御開山上人）は49歳で挑みました。





濃紺の空に満天の星。身延山・日蓮宗大荒行水行場に続く吹きさらしの廊下。冷気が肌を刺し、歯の根は合わず、手足は麻痺して動かない状況です。

「背筋を伸ばせ」

「肝文を唱える声が小さい」

「何を震えておるか」

先輩僧侶の叱咤が容赦なくあびせられます。のどはつぶれ、それでも声を絞り出す。霜やけ、あかぎれは手足にとどまらず、全身の皮膚を切り裂きます。

水行の他はひたすら読経三昧。機関銃のようにすさまじい早さで打たれる木鉦は、起きてから寝るまで絶え間なく続きます。一日に三時間の睡眠では、読経の最中でも、洗濯・炊事・掃除をしても睡眠は襲ってきます。それは股や頬をつねるくらいで目覚めるといような、なまやさしいものではありませんでした。

「すごい睡魔だ。まるで菩提樹の下に座した釈尊が、悟りを開かれる前に襲いかかってきた大魔王の大群のようだ…」



その時、ふと修学の目に飛び込んできたのは宝前の左右に描かれた「雪山童子」と「檀王」の絵でした。雪山童子も檀王も釈尊が教えを説かれるずっと前の時代に、妙なる法を求めてどこまでも苦行を重ねたのです。

「私は今、妙法と出会えている。何とありがたいこと。さらに百日経てば済む今の修行の何と楽なこと」

そう思い至ると感極まり、涙があふれ出てくるのでした。

最も厳しい三十五日間の「自行」が終わると、厳しかった先輩達も親切に教えてくれるようになりました。

「初めの厳しさがなければ、この親切は感じられないだろう。世の中は思い通りにならないことの方が多くあるのだが、それ乗り越えようとする努力が智慧であり修行。相手に憎まれて苦労する時、堪忍した喜びがその中から生まれる。世の人の苦しみを救う力は、自らも苦しみを体験し、乗り越えてこそ得られるのだ。苦しみを喜びに変えるのが悟りなのだ」

自行が過ぎ、面会が許されるようになると、各地から人々が身延を訪れます。面会所には注連縄が張られ、床には筵が敷かれています。そこに修学が姿を見せました。

ぼうぼうに伸びた髪、髭、さらに疲労の色が隠せないその様相に、面会人は言葉を失いました。防寒コートに襟巻きをまとう身が申し訳なく思えるばかりでした。そんな人々に対して、修学はにこやかに語りかけました。

「皆さん、ありがとうございます。元気で頑張っていますから、留守を頼みます」

最前列で、深々と頭を下げるお年寄りの婦人がいました。

「おばあちゃん、長生きしてくださいよ。あなたの健康のために、一杯よけいに水をかぶりますからね」

「お見舞いにかがったはずなのに」と、逆に励まされて人々は感涙にむせぶのでした。

修学は初行の後も、再行、参行と三度の大荒行に挑みました。

参考文献



『大乗山法音寺三徳開教百年史』(3)



御開山上人伝『如我等無異』

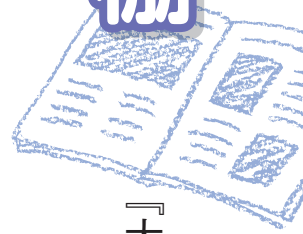


御開山上人伝『泰山』第三話



お寺の本棚

『大白牛車』(九)



人の幸せを先に願う菩薩の心



「家に病人がいる」とか、「子どものことで困っている」という方は本当の幸せが得られないのか、
と思うかもしれませんが、それは間違った考え方であります。どんなことがあるうとも、それを契
機として悟りに変え、幸せに変えていくのが行であり、信仰であります。

日本福祉大学で以前、「車イスの少女」の入学を許可いたしました。当時、日本の大学では初め
てのことでした。少し余談になりますが、それ以前に日本の大学は、車イスの利用者だけでなく、
障がい者は成績がいくら良くてもほとんど受け入れなかったのです。差別と思われるかもしれませんが
んが、それにはそれだけの理由もあります。施設面を考えても、試験の方法にしても、問題はいっ
ぱいあるわけです。しかしその時、日本福祉大学は「これだけの施設しかないけれども、それでも
よかったら受験してください」と受け入れたのであります。それまでも障がい者を受け入れては
おりましたが、「車イスの学生」は日本では初めてということで新聞・テレビ等で報道されました



ので、ご存じの方も多いと思いますが、実際問題、本人の努力は大変なことだと思います。在学中の四年間、実家が姫路ですから家を離れ、見知らぬ地での母娘二人の下宿生活は大変です。

そういう、車イスに頼らなければならない、母親が付き添わなければ生活できないという、言ってみれば「気の毒な人だ」と傍目からはそう思えるでしょう。しかし、その母娘とお話をして、つくづく感心いたしました。と申しますのは、お母さんはお母さんでイキイキとしておられ、当人もまた非常に朗らか、そして勉強する意欲も充分なのです。さらにお母さんは「仕方がないから娘の付き添いをする」というのではなく、「それをするのが楽しみ」という風情なのです。

不幸を幸せに変えて、と言いましょか、そんな大げさに言わなくても、喜んで生きるということに、自分達がどこかでふんぎりをつけておられるのです。傍から見れば苦しみと思える中にも、喜びの心を持ち続けておられるのです。

人間は、自分一人だけ幸せになるということはありません。ですから、周りの人を幸せにしていくことが何より先決であります。そうしたことがなければ、自分の本当の幸せはないというのが法華経の精神であります。

この本をもっと詳しく読んでみたい方は、法音寺本山、または各支院・布教所までお問い合わせください。



教えて三徳

三徳とは、慳貪（貪り）の心を翻して施しの心とし、

瞋恚（怒り）の心を転じて柔和忍辱に変え、

愚痴を改めて智慧と変えることです。

（二祖・村上斎先生）

◆ 人生幸運の秘訣は…

眉間にしわを寄せて常に腹を立てている人といつもニコニコしている人。そばにいるとしたらどちらがよいですか。笑顔の人のそばにいる方がよいのは言うまでもありません。気難しい人のそばにいますと、心が穏やかになりません。怒る人は心に余裕のない人。思い通りにならないから、怒ることばで発散し、心のバランスをとろうとするのです。よくおもちゃを買ってもらえずに泣いている子を見かけますが、同じようなものかもしれません。

また自分だけが正しいと思い、相手のここが悪い、あそこが悪いと常に批判ばかり口にして
いる人も同じです。怒りや批判を繰り返すうちに、人は寄りつかなくなり、信頼される
こともなくなりますから、どんどん孤独になっていきます。そういう中で生きていくのは
辛いことです。

《腹を立てない》（堪忍）

怒りは今までに積んだ功德を焼き尽く
してしまふものといわれます。そしてそ
の怒りが原因となって、その後さまざま
な苦悩を引き寄せてしまふのです。すな
わち怒らないことこそ人生幸運の秘訣な
のです。



福祉の ひろば



幸せのお手伝い

～ 出会った人を

大切にできる人間に～

初めての担当児の

MちゃんとYちゃんとの出会い

昭徳会に入職して10年間、色々なお子さんや保護者の方と出会い、関わってきました。その中でも、一年目から継続して担当していたMちゃんとYちゃんの印象が心に深く残っています。初めての担当児ということで、思い入れが強く、他児よりも関わりを多く取って、とにかく良い関係を作ろうと必死でした。

Mちゃんは大人子ども関係なく他者に対しての

気持ちや興味関心が希薄、Yちゃんは大人に対する不快感が強い児童でした。日常生活では問題がなくても、彼女達が持っている苦労や悩み、不満を長年共有し、一つひとつ一緒に解決していくことで、彼女達の中で、この人は私の担当。相談はこの人にすればいい、と思ってもらえるくらいまで関係ができたと思います。Mちゃんは職員の誕生日や母の日には、つたない文章ではありますが手紙をくれたり、Yちゃんは職員にほめてもらいたい一心で頑張って書いた詩が冊子に掲載されたこともありました。彼女達の成長を実感し、5年

目頃にやっと本当の意味で児童養護の仕事にやりがいを感じ始めました。しかし、6年目が終わる年に名古屋市若松寮が当法人に民間移譲されることになり、引継ぎ職員として異動を命じられました。当初は、大きい組織であるため異動も仕方ないと思っていましたが、子どもに異動が知らされた際に泣きながら崩れ落ちる担当児を見て、自身『異動したくない。これからこの子達を見ていきたい。この子達がどんな選択をして、どんな道に進むのか。サポートできることが何かあったかもしれない』と感じ、異動が悲しくて仕方ありませんでした。

ただ、早いもので名古屋若松寮に異動して5年目を迎えましたが、ここでも色々なお子さん・保護者の方に出会いました。そして、若松寮でも長

く見ていきたいと思えるお子さんにも出会えました。異動をしてもその先で新たな出会いがあり、他の職員とともにそこで自分ができることを精一杯やることの大切さを知ることができました。その分大変なことや苦労も確実にありますが、出会った人を大切にできる人間でありたいと思います。

児童養護施設 名古屋若松寮 保育士 榊原 弘子



技能実習生の日本語教育講座を開催



写真提供・昭徳会

社会福祉法人 昭徳会 ～日本福祉大学との新たな取り組み～

昭徳会の高齢者施設では、ベトナムとインドネシアからやって来た14人の技能実習生（安立荘／2人、高浜安立荘／7人、小原安立／2人、高浜安立荘デイスサービスセンター／2人、ケアハウス高浜安立／1人）が実習を行っています。

介護の仕事は、言葉によるコミュニケーションが必須であり、時には、むずかしい会話が求められる場面もあります。利用者や職員が話した内容が理解できないと、介護事故につながる危険性もあります。そのため介護職種の技能実習生には、日本語に関する要件が定められており、入国時に日本語能力試験のN4レベルの能力を習得している必要があります。また、2年目には、N3レベルの習得が求められています。

日本語能力試験とは、日本語を母語としない人の日本語能力を測定し認定する試験として、国際交流基金と日本国際教育協会（現日本国際教育支援協会）により、1984年から実施されています。認定レ

ベルは、N1、N2、N3、N4、N5の5つのレベルがあり、最もやさしいレベルがN5で、最もむずかしいレベルがN1となります。

入国時に必要なN4レベルとは、「基本的な日本語を理解することができる」というレベルで、これは、ゆっくりとした日常会話を聞き取ることができる程度の力とされています。また、N3レベルは、「日常的な場面で使われる日本語をある程度理解することができる」レベルで、新聞などの見出しを読んでも情報の概要を理解することができ、日本人が普通に話すスピードで、具体的な内容を理解できる程度の力となります。このように、介護職種の技能実習生には、とても高い日本語レベルが求められています。そのため、留学生の受け入れも積極的に実施している日本福祉大学と連携し、日本語教育講座を開催することになりました。

講座は、技能実習生の日本語レベルに合わせ、N2取得コースとN3取得コースの2クラスが設けら

れ、各コース月2回、一年間のプログラムが組まれています。そして、オンラインにて日本福祉大学の日本語講師から授業を受けます。

初回の授業では、開始を待つ受講生全員がパソコンの前で緊張した様子でしたが、授業が始まると、全員、積極的に授業に参加し、先生からの質問に対して自ら発言したり、質問をしたりする姿が見られました。

講座は、授業に参加するだけでなく、宿題もあります。日々の介護業務を実施するだけでも大変な中、一生懸命勉強する姿を見ていると感心します。

昭徳会で頑張っている技能実習生全員が日本語能力試験に合格し、一人ひとりが抱えている夢を実現できるように、昭徳会と日本福祉大学が連携してサポートをしていきたいと思っています。

社会福祉法人 昭徳会 法人本部事務局 人事課長

瀬戸 純司

学生発のサイダー商品化と安全な住まい 発信を支援

日本福祉大学社会福祉学部・健康科学部

日本福祉大学の関連会社であるエヌ・エフ・ユーは、施設管理、人材派遣、福祉用具の販売等を通じてつちかった

ノウハウを生かして、学生達が取り組む商品化につながる活動や、社会に発信していく取り組みを支援しています。

多くの方々にご利用いただいた「につぶくにこにこカルタ」はその代表作です。しかし、商品化にこぎつけ社会に発信できる段階に至るまでには、さまざまな紆余曲折と苦労があり、何よりそれを超える学生の熱意と根気が必要です。この春、2つの取り組みがそれぞれ実を結びましたので、ご紹介いたします。

〈社会福祉学部の学生が商品化に取り組んだ〉

美浜町地サイダー販売開始

4月末より、学生が商品化に取り組んだ2つの新しい味の「地（元）サイダー」の販売を開始しました。美浜町特産のミカンとパッションフルーツを活用した「はまぶくサイダー」と、隠れた特産であるキウイを活用した「かつぱ

さいだー」です。

そもそものきっかけは、社会福祉学部行政専修での「公務員育成チャレンジプロジェクト」。将来行政での活躍を夢見る学生達が、美浜町役場職員とともに地域の農業・商業の活性化政策を考える取り組みに挑んだことが始まりでした。

学生達は、美浜町の魅力や特産物など、町の職員から講義を受け、実際に農家も訪問。さまざまな味を試行錯誤し、地元の産業祭りでも試供品を提供してお客さまの反応を探ったりと、三年がかりで商品開発に取り組みました。そしてエヌ・エフ・ユーが製品化までの工程を調整し、商品として販売することができました。



写真提供・日本福祉大学

〈健康科学部の学生が 安全な住まいを発信〉

健康科学部福祉工学科
建築バリアフリー専修の
村井准教授と研究室に所
属する学生が、中日新聞
LINKEDと連携して
「安心していつまでも暮

らせる理想の家」をコンセプトに「MYエデンの園〈創造〉
計画プロジェクト」に取り組んでいます。福祉用具の貸与
や販売、住宅改修にもあたっているエヌ・エフ・ユーもこ
のプロジェクトに参加し、発信を支援しています。

毎年3万人以上の高齢者が不慮の事故で亡くなっており、
調査データでは「誤嚥等の不慮の窒息」「転倒・転落」「不
慮の溺死及び溺水」による死亡者は、「交通事故」より多
いという結果が出ています。

学生達は、学びを生かして、家の中に潜む危険と解決方
法を考え、高齢者の幸せを支える住まいを社会に発信する
ため、昨年9月より取り組みを始めました。家の中を場所
ごとに分けて、問題点と解決策の検討を開始。2月に第1
回目「玄関まわり」をインターネットサイト「中日新聞L



INKED地域医療ソーシャ
ルNEWS」で発信しました。
道路から玄関、玄関からあが
り框までの間の高低差による
つまずきや転倒をどう防ぐの
かなど問題点を提起。スロー
プや手すりの設置や福祉用具
の活用など解決策を学生が提
案しています。4月には第2回
目として「廊下・階段」を発信。
今後「浴室・脱衣場」「トイレ」
と続く予定です。

両方の活動に関わっていつも
感心するのは、学生ならではの
若い感性と発想力です。試行錯
誤を重ねて成長していく学生の
姿に接することも楽しみです。これからも、いろいろな企
業や団体と学生の協働の場面を支え、学生達の学びに寄与
していきたいと考えています。

(株) エヌ・エフ・ユー 第1事業部長 田中 勇介



法音寺は「信仰と福祉のお寺」です



困っている人達の助けになることで、
法音寺には“功德”が積み重ねられています

(功德とは、「幸せを引きよせる種」です)

その功德が信仰を通して
皆さんに授けられるのです



法音寺による社会貢献

社会福祉法人昭徳会の運営を基に
現在1,400名を越える人達のお世話をさせていただいています



福祉の様々な分野を支え、
利用者さんの幸福を実現します



児童福祉施設

親と暮らせない約170名の子ども達の
生活を支えています

保育園

毎日370名余りの園児達の
成長を見守っています

障がい児・障がい者施設

300名を越える人々に
日々希望を与えています

高齢者施設

600名ほどのお年寄りに
寄り添っています



学校法人日本福祉大学を通じて
児童養護施設出身者の就学金に
皆さんの浄財が使われています



幸せの種まき

困ったことが起こった時は
罪障が消滅していく時と悟り
そのことを喜べるように
したいものです

現れた罪障を見て愚痴不足を口にすれば
せっかく一つ消えたのに
また一つ罪障を作ることになります

大乗山 法音寺

編集後記

「目の前には、良いこと悪いこと、いろいろなことが起こりますが、どんなことでも喜びに変え、徳を積む方向に変えてゆくなら、必ず良くなります。これが『信仰をする』ということです。毎日を『ありがたいな』という心で生きてゆく中に、本当の幸せが生まれるのです」

（日達上人述）

新型コロナウイルス感染症関連のニュースが連日報道される中、日々法音寺の教えを信仰している私達は、「今」の時代をどう生きるべきなのかを考えさせられます。私達はそれぞれ大切な役割を持って生まれ、仏さまに「生かされている」とお寺では教えられています。

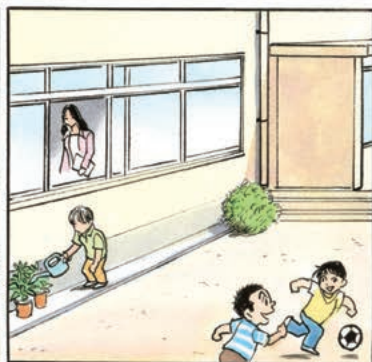
『今の私にできることは何だろう…』

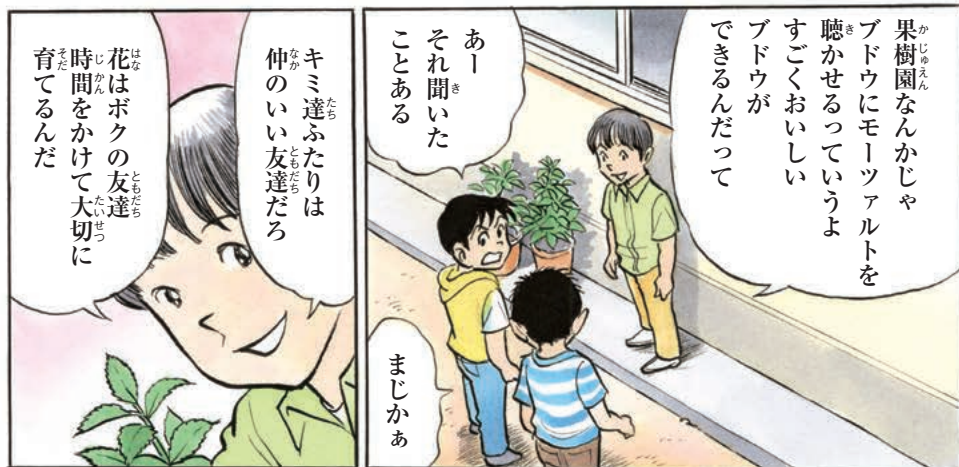
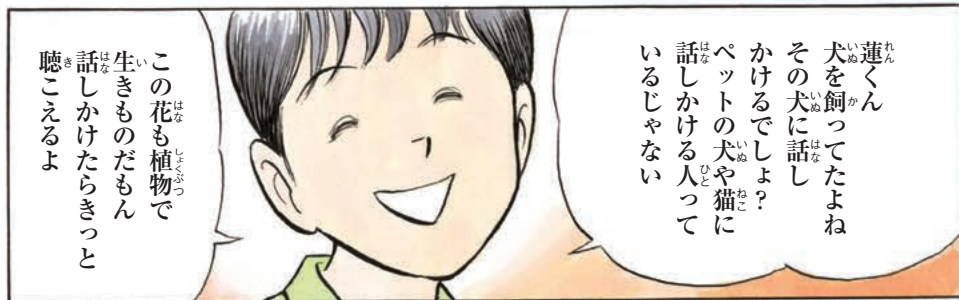
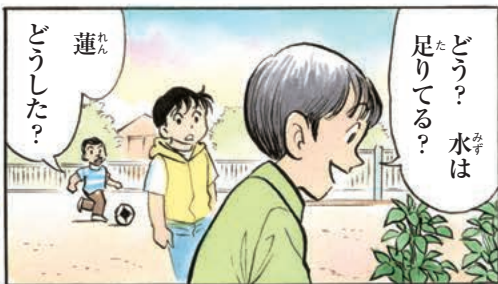
平穏な時には考えようとしなないことを、「困難」ともいうべき状況に陥ったからこそ、ゆっくりに考えるありがたい機会をいただいたのかもしれない。

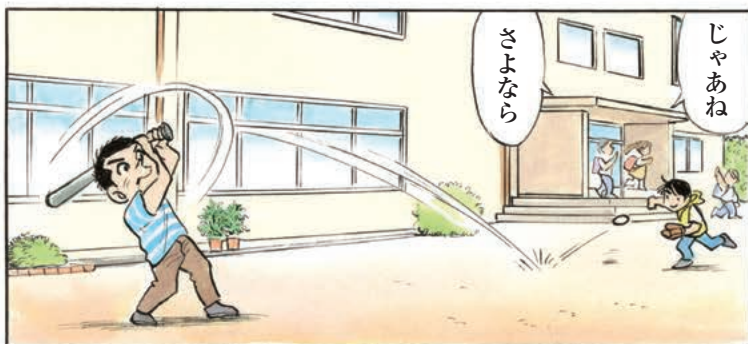
今年も御開山会が中止となったのは残念ですが、日々の暮らしぶりを時間をかけて見直し、成長のステップにしたいものです。

ば ら と も だ ち
薔薇の友達

竹中 淳



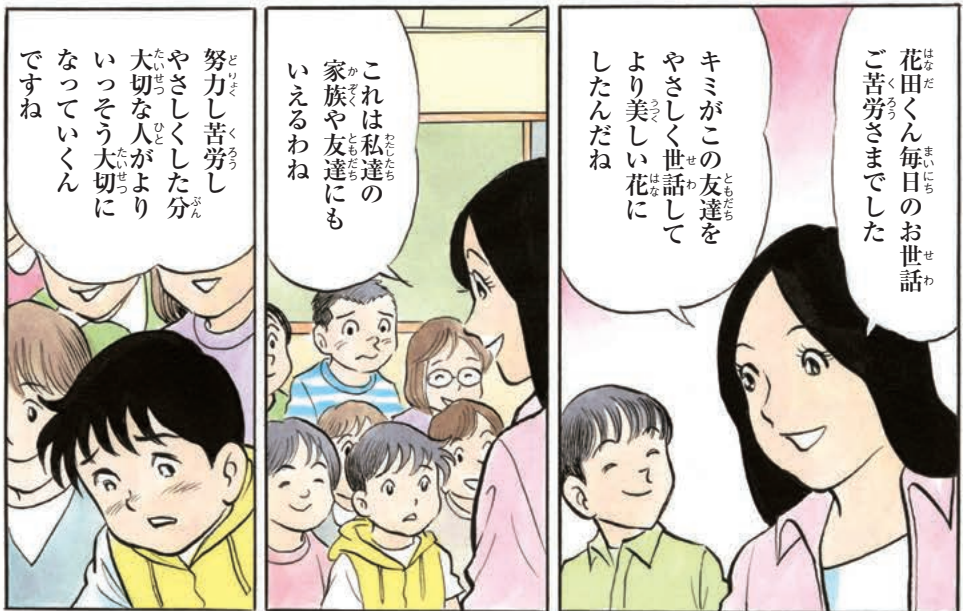
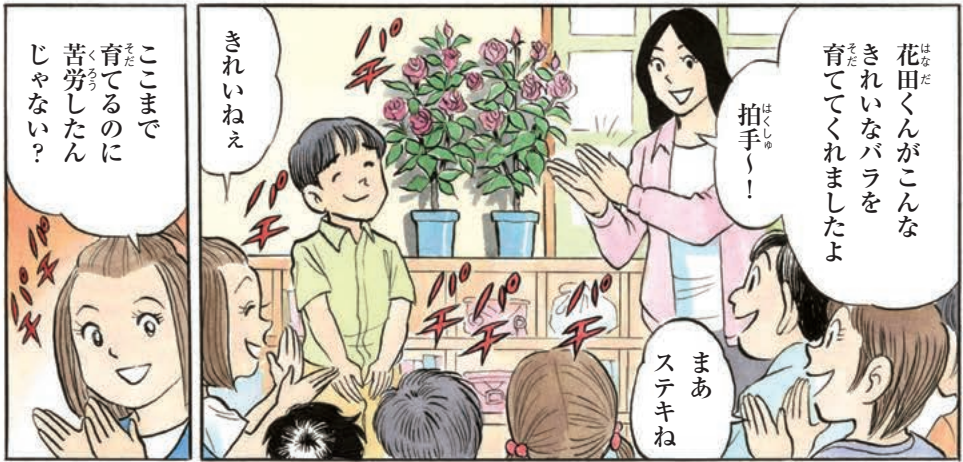












授業中

タケルのことが

頭から

はなれなかった



いつも仲よく遊び
時にはケンカもし

ごめん
言い過ぎ
たよ...

いや
オレこそ
スマン!

そのたび仲直りをくり返し
より仲よくなっていた



ボクにとってタケルが
大切な友達に
なっていたのは

ボクらが
仲よしだった時も
ケンカした時も
どんな時も
いっしょに
いた
大切な
時間
だったんだ



ねえタケル
知らない?

ああ 蓮くんを
さがしてたよ

もう一度ちゃんと
話さなきゃ...

おーい
タケル!

おう



おしまい

法音寺物語

社会福祉という言葉がなかった時代…
人々を本当の幸せにする仏教の精神で
社会的弱者を救済する人達がありました。



貧困にあえぐ人達に食料や医療を施し、
差別を受けたハンセン病を患った人々に
寄り添い、様々な事情で親をなくした
子ども達を養育し、障がいを持つ人々に
生きる希望を与えてきました。



お寺になったのは戦後(昭和22年)のこと。
初代住職・鈴木修学上人は、福祉施設を
運営する中で、本当に人々を救済するには
“専門的知識を身につけた人材が必要”と考え、
日本初となる社会福祉教育専門の4年制大学・
日本福祉大学を開設しました。



その後、“仏さまの教えを実行し、困っている人達を
救済しよう”という理念に共鳴する人達が各地に
増え、全国に40の支院・布教所が設置されました。
多くの心ある人達の善意に支えられて、現在では、
高齢・障がい・児童の19福祉施設が運営され、
大学では多くの学生が社会福祉を学んでいます。





勇猛精進

相手を満足させればすぐ喜びがくる
相手をいたわれれば喜び合う日が必ずくる

写真・法音寺大本堂
《山首上人の大修行御成満奉告法要の砌》

日蓮宗大乘山 法音寺

〒466-0832 名古屋市昭和区駒方町3-3 TEL.052-831-7135
<https://www.houonji.com> FAX.052-831-9801



講話日

毎月7日・17日・27日
午後1時30分

ホームページにて月刊法音を掲載しています



SNSでつながる法音寺



法音寺公式
facebookで
毎朝7時
『一日一言』
配信中!!

こちらの
QRコードから
ご覧いただけます。



毎週火曜日
法音寺メールマガジン
配信中!!

山首上人のみ教えや毎月の予定、
人によさく生きていくための
コツなどを配信します。

こちらのQRコードから
メールマガジン登録フォームを
ご覧いただけます。



YouTubeにて
法音寺チャンネル
開設中!!

<https://www.youtube.com/user/houonjmovie>

こちらのQRコードから
法音寺紹介動画を
ご覧いただけます。



詳しくはホームページ、またはYouTubeサイトで

法音寺

検索



法音寺の社会福祉・教育事業



徳を昭(あき)らかにし、徳を以って世間を照らす

社会福祉法人 昭 徳 会

- 児童養護施設
- 障がい児入所施設
- 障がい者支援施設
- 特別養護老人ホーム
- 障がい福祉サービス事業
- 養護老人ホーム
- 軽費老人ホーム
- 保育所
- 軽費老人ホーム(特定施設入居者生活介護事業)
- 自立援助ホーム

法人本部

〒466-0832 愛知県名古屋市中区駒方町4-10
TEL (052) 831-5171
<http://www.syoutokukai.or.jp>



我が如く等しくして異なること無からしめんと欲す

学校法人 日本福祉大学

- 日本福祉大学大学院
- 日本福祉大学
- 日本福祉大学中央福祉専門学校
- 日本福祉大学付属高等学校

法人本部

〒470-3295
愛知県知多郡美浜町奥田会下前35-6
TEL (0569) 87-2211
<https://www.n-fukushi.ac.jp>



法音・令和3年6月号・No.620・令和3年6月1日発行

発行所・日蓮宗法音寺／制作・法音寺広報委員会

非売品／印刷・(株)一誠社